



## 地元の食材でみそたんぽ作りに挑戦

女性部藤里支部（藤原京子支部長）は食農教育活動の一環として、9月5日に藤里小学校の家庭クラブに所属している5、6年生11人を対象に、みそたんぽ作りに取り組みました。

この日は、藤原支部長のほか小山いく子さん、淡路裕子さんが講師役となり、みそたんぽ作りの指導をしました。すり鉢にごはんを入れ、すりこぎで一



←きれいに形を整えます。

生懸命つぶしたあと、たんぽの形づくりを行いました。児童らは形づくりに苦戦しながらも、部員らと一緒に楽しく作業に取り組んでいました。外はカリッと中はふんわりと焼き上がったきりたんぽには、藤里産大豆で作った味噌のたれをたっぷりつけて食べました。児童からは「おいしい」、「もう一本食べたい！」と声があがりました。



→おいしいみそたんぽいただきます！

## 介護施設へタオルを寄贈

女性部能代支部（佐々木博子支部長）は9月7日に「いなほの里」と「白神憩の郷」へタオルを寄贈しました。この取り組みは毎年行われており、女性部員らが協力して持ち寄ったバスタオルやフェイスタオルなどを、各地区の支部役員がそれぞれの施設に届けました。

「白神憩の郷」には、北地区の佐々木支部長ら6人が訪れ、「いなほの里」には東地区の飯坂副支部長ら6人が訪れました。「いなほの里」では多くの利用者の前で贈呈式が行われ、「今年もみなさんに会えてうれしいです。これからも元気に過ごしてください」と言って手渡しました。利用者からは「毎年たくさんのタオルをありがとう。大事に使います」とお礼の言葉をいただきました。



←白神憩の郷で  
あいさつをする佐々木支部長。



←いなほの里での贈呈式の様子。